

## 4. 統計分野の国際協力

アジア諸国における統計ニーズの高まりに貢献するため、産業統計分野における豊富な経験と知見を活かして、国際統計協力を実施しています。

### (1) アジア諸国に対する統計技術協力

日本と関係が深いアセアン諸国等に対して、「日・アセアン経済産業協力委員会・統計ワーキンググループ（AMEICC/WGS）」の場等を活用し、アセアン諸国における産業統計整備を目指しています。

また、現在、ベトナム、タイ、マレーシアに対して個別に統計の技術協力を行っています。

### (2) アジア諸国の政府統計職員への研修協力

#### ① 産業統計研修の実施

アセアン諸国等を対象に、平成9年度から各種産業統計の整備・拡充のための人材育成を目的として、統計研修を毎年実施しています。

#### ② 現地セミナーの実施

カンボジア、ラオス、ミャンマー等への人材育成支援として、現地セミナーを企画、実施しています。

#### ③ 商業統計研修の実施

平成18年度から中国との統計交流として、商業統計調査についての専門家研修を実施します。

### (3) 国際機関等へのデータ提供

国際連合、経済協力開発機構（OECD）等の国際機関に対するデータ提供をはじめ、各国政府統計機関、海外の研究機関等からの統計データに関する問い合わせに対応しています。

### (4) 各国からの来訪者の受入れ

海外からの来訪者に対して、調査統計部関連の統計の説明や統計情報の提供を行っています。

## 5. 人材育成

多様化する経済活動の中であって、客観的なデータに基づく政策の企画立案及び評価が一層求められており、経済統計の作成及びそれに基づく分析の重要性が益々高まっています。

このような業務に携わる人材育成のため、調査統計部では、

(1) 経済産業省及び都道府県において統計業務に従事する職員を中心に、統計、経済分析、産業分析の分野での専門性を持つ人材を育成する研修（統計／経済・産業分析コース）を実施するとともに、研修内容の充実を図っています。

(2) 省内職員を対象に、学識経験者やエコノミスト等を講師に招いた勉強会等を実施しています。

### 統計／経済・産業分析コース（平成18年度予定）

